

山鼻小学校改築に係る説明会議事概要

○日 時：令和7年1月14日（火） 18時30分～20時10分

○場 所：札幌市立山鼻小学校 体育館

○出席者：地域住民、保護者等（児童・未就学児含む）	～	40名
山鼻小学校	～	4名
札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課	～	7名
札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課	～	1名
札幌市都市局建築部建築工事課	～	2名
札幌市都市局建築部電気設備課	～	1名
札幌市都市局建築部機械設備課	～	2名
改築基本設計委託事務所	～	4名

1 開会あいさつ

～ 札幌市教育委員会学校配置マネジメント担当課長

山鼻小学校は、建築後約50年を経過し、老朽化が進んでいることから、改築を進める運びとなった。併せて児童会館も小学校へ併設する予定である。子どもたちが学び、集う場、さらには多くの世代の方が利用する地域の施設としてもよりよいものになるよう、その内容を皆さまに知っていただきたく、この説明会を開催した。

P T Aや地域の代表の方々や学校の先生方の協力の下、検討を進めており、この場を借りて感謝を申し上げる。

皆さまのご理解、ご支援に心からの感謝を申し上げ、開会の挨拶としたい。

2 児童会館の併設について【資料なし】

～ 札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課

整備事業推進担当係長

札幌市では、平成26年度に策定した「札幌市市有建築物の配置基本方針」の考え方にに基づき、山鼻小学校の改築等に併せて、校区内の児童会館である「山鼻かしわ児童会館」を移転し、小学校への複合化を予定している。

小学校に併設することで、主な利用者である、山鼻小学校に通う子どもたちにとっては、放課後に学校の敷地を出ることなく、直接児童会館に遊びに行けるようになるため、より安心して利用できる施設になるという利点があるものと考えている。

新たな児童会館については、これまで以上に地域に親しまれ、利用していただける施設にしていきたいと思います。

なお、小学校への複合化後、現在の山鼻かしわ児童会館については、市役所内部での公共利用希望について照会を行ったうえで、取り扱いを検討する。

市の原則的な考え方では、公共利用希望がない場合は、基本的には建物は解体し、解体後の土地は売却となる見込みのため、ご理解を賜りたい。

3 改築計画案について【映像資料】

～ 札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課施設整備係

(1) 事業スケジュール

改築事業全体のスケジュールについて、令和6年度基本設計、令和6年度末～8年度実施設計、令和8年度末に工事着手の想定である旨説明。

(2) 改築事業の概要

計画地及び周辺環境、改築する施設の計画規模、整備諸室について説明。

安心・安全で機能的な学校、周辺環境との調和、屋外環境、経済性、工期・施工計画の5点を前提条件として整理し、施設整備を計画している旨説明。

(3) 配置計画案・工事手順ほかについて

配置図に基づき、改築する施設やグラウンドの配置や工事手順について説明。

(4) 平面計画案について

平面図をもとに、各階毎の平面計画案について説明。

4 質疑応答

(1) 質疑・意見の概要

質 疑	回 答
給食室からのにおいについてどのような対策をとる予定か。	建物をできるだけ南側に寄せて配置するほか、ダクトの向きなど配慮します。
他の学校の屋内運動場では日光の照り返しが強いこともあるが、新築校舎の屋上の日光の照り返しについてどう考えているか。	シート防水やアスファルト防水を予定しているため、単独で立つ屋内運動場の屋根ほどの照り返しは発生しない見込みです。
新しい校舎にエアコンは整備されるか。	普通教室、特別支援教室、保健室、職員室に整備する予定です。
（上記回答を受けて） 夏季における子どもの教育環境・熱対策を考えると、不十分ではないか。特別教室も含めて全館空調にする考えはないのか。	整備する教室などは札幌市立の小中学校で同じ考えの下進めているため、現時点においては、全室に整備することは難しいことをご理解願います。
グラウンドが使用できない期間における児童の遊び場や運動ができる環境を用意してほしい。	過去の改築校では、近隣の公園や学校を利用した事例がありますので、今後学校と相談して検討してまいります。
山鼻小学校敷地内やその周辺にある「明治天皇御駐蹕の地の記念碑」や「お声のかりの柏の木」など歴史あるものがあるので、建設工事の際に棄損しないよう大切に進めてほしい。	ご意見を踏まえ、棄損しないよう工事を進めてまいります。
現在の校舎内には、過去の卒業生が制作した展示物があると思うが、その取扱はどうなるか。 捨てたりするのであれば、作成した卒業生に返却してもらえればと思う。	今後、設計を進める中でどの程度のスペースが用意できるか検討し、残すことができるかどうかも含めて対応を決めていきたいと考えています。

学校に児童会館が複合化されると放課後直接通えるため、親としては安心できる。 近年では、児童会館で習い事を行っている話を聞いたが、複合化された後にそのようなことを実施する予定はあるか。現在予定が無いのであれば検討してほしい。	現在、札幌市が設置している児童会館では習い事の実施は予定しておりません。 今後の運営に関するご意見として、運営主体である（公財）さっぽろ青少年女性活動協会とも共有したいと思います。
トイレは全て洋式化されるか。	改築後の校舎は、全てのトイレを洋式とします。
新たに整備されるエレベーターは、怪我や体調不良の人を運べる程度の広さが必要と考えているが、サイズはどれくらいか。	13人乗りのエレベーターの整備を想定しています。
音楽室を2室整備する理由は何か。また、サイズはどれくらいか。今の音楽室を半分にする、という考えか。	山鼻小学校の今後を含めた児童数・学級数を鑑みると、教育活動上、音楽室は2室必要と考えています。3階には、体育館への楽器を搬出入のために現状と同程度の広さで整備する予定です。また、4階には、現状よりも広い音楽室をもう1室整備する予定となっています。
普通教室と屋内運動場は、既存よりも広くなるのか。	普通教室については、現状と同等の8m×8mの広さです。 また、屋内運動場（アリーナ部）については、現状の約700㎡から、改築後は約1,000㎡となる想定です。
山鼻かしわ児童会館には、体育室があるが、小学校への複合化後、体育室は整備されるか。	山鼻かしわ児童会館にある体育室の代替として、1階児童会館の中に150㎡の多目的ホールを整備することとしています。
現在の校舎が建設された際に、グラウンドの地下に配管を通すことで水はけが改善されたが、今回の改築においても対策はされるか。	設計中ではありますが、現在のグラウンドと同様に地下に配管を整備することで対策を行う予定です。

中庭を配置する理由は何か。	建築基準法において、居室へ自然光を確保することが必要とされているためです。校舎の中央部に位置している図書室は中庭を配置しない場合、窓からの自然光を確保できないため、今回計画案では中庭を配置しています。
エアコンが設置されない特別教室の窓などの断熱性能はどうか。現状よりも暑くないか。	改築によって断熱性能も向上すると考えています。
現在、保護者の送迎車や修学旅行等の大型バスが北側道路に駐車されており、改築後の駐車について不安がある。	学校行事で使用する大型バスは、南東側の駐車場を利用していただく想定です。
改築後の校舎には、どのような避難所機能があるか。	引続き札幌市の基幹避難所として、主に屋内運動場を活用する想定です。また、2階の階段・E Vの近傍に避難所物資を保管する備蓄庫を整備する想定です。
災害に備えた非常電源の整備はあるか。 それらの電源により、仮に停電があった場合の避難所運営時にE Vは動くのか。	太陽光パネルによる発電と非常用発電機を整備する予定です。 非常時の電力の供給は最低限のものとなる想定であり、停電時には、E Vの利用は難しい見込みです。
行啓通の歩道が狭いことから、樹木を伐採して拡幅するとよいと思うが、樹木が生えているところは学校敷地か。	道路敷地になります。なお、行啓通の歩道にあるもみじの木は、地域の方々の思い出が強い大切なものと聞いております。
南側の正門から昇降口まで距離があるので、正門の位置は良く検討した方がよい。	行啓通の歩道には、地域の方々の思い出が強い紅葉の木があり、できる限り樹木への影響を最小限にとどめるため、現状の正門を活用した設計としたものです。
増築スペースを用意した目的は何か。	将来的に児童数が増加し、教室がさらに必要となった際に増築できるようスペースを確保しています。

校舎が石山通沿いに配置していると、車の走行音などの騒音や排気ガスの問題も考えられるため、現在校舎がある位置で改築した方が良い。	現在校舎がある位置で改築するとなると、仮設校舎の建設が必要となり、グラウンドを使用できない期間が長くなる、引っ越しが2回必要となる、仮設校舎の建設等で多額の費用が必要となるなど課題が多いことから、現在のグラウンド位置に新校舎を配置することとしています。
備蓄庫はどこに整備されるか。	2階の校舎南西に整備する予定です。
ワークスペースを整備することでオープンな空間になると、冷暖房が効きにくくならないか懸念がある。	ワークスペースを整備した場合にも、適切な温度管理は可能と考えています。
火災発生時に、校舎内に2箇所ある階段が近接しているためどちらも使えなくなる懸念や、非常階段が給食室の傍に設置されているため使用できなくなる恐れがある点が気になった。校舎南側にも設けたほうが良いのではないかと。	法律上の基準は満たしており、火災時の安全性は確保しておりますが、避難訓練などを通じて施設の運用時においても注意してまいります。
改築計画案等に関する意見	
防犯対策のためにも、防犯カメラを設置してほしい。	
施工中の車両動線についてどうなる予定か。周辺住民の生活にも影響するため、安全管理をしっかり行ってほしい。	
校舎周辺には、住民が利用するデイサービスや宅配業者の車両も通行するので、サービス動線安全について、今後の設計の中で検討してほしい。	
北側の除雪状況によっては、サービス動線の交通安全に不安が生じることもあると思われる。	
石山通沿いに校舎を配置すると車の走行音などの騒音が気になることが考えられる。今後の設計の中で配慮してほしい。	

(2) 今後の流れなど

今後も地域の皆様のご意見等を参考にしながら、設計を進めていきたいと考えていることから、ご意見等がある場合は、札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課あてに令和7年2月14日（金）までに書面にてご提出いただくよう説明。

また、本日参加できなかった地域の皆様に向け、曙まちづくりセンター、山鼻まちづくりセンター、山鼻かしわ児童会館、札幌市のホームページにて、今回の資料や議事概要を閲覧できるようにする旨説明。

5 閉会あいさつ

～ 山鼻小学校改築検討委員会委員長 山鼻小学校長

本校は、山鼻屯田兵が子弟の教育のために設立を願い出たことにより開校した。

地域の皆様が本校の子どもたちの健やかな成長を願って残してくださっているものがたくさんある。例えば、先ほど敷地の南側の樹木のお話があったが、毎年秋になると見事に紅葉し、行啓通を通る市民の目を楽しませてくれるもみじの木は、もう 100 年以上も前に地域のみなさんが京都の嵐山から移植してくださったものである。

このように開校当初から地域の皆様に愛され、今年で開校 146 周年を迎える。

コロナ禍を経て世の中の状況は変わってきており、子どもたちを取り巻く状況も非常に大きく変化しているが、これからの子どもたちは、先行き不透明な時代を生き抜いていかなければならない。

一方で、子どもたちの安心・安全を地域の皆様と一緒に作っていくことは、いつの時代も変わらず大事にしていかなければならないことだと感じている。

先人たちの「子どもたちのために」という想いを引継ぎつつ、未来の子どもたち、曙・山鼻地区にとってより良い改築となるように学校としても引き続き尽力してまいりたい。